

セルロースナノファイバーの環境政策における位置付け

セルロースナノファイバー（CNF）とは

- 森林資源、農業廃棄物を原料とする高機能材料である（鋼鉄の5分の1の軽さで5倍以上の強度）
- 植物由来のカーボンニュートラルな材料である。
- 2000年代半ばから先進国を中心に研究開発や標準化（ISO）の議論が進められている。
- 素材として実用段階に入り、用途開発の取り組みが進められている。

環境政策における位置付け

- 自動車部材の軽量化による燃費改善、住宅部材や家電製品の断熱性能向上による電力消費低減
→ 地球温暖化対策への多大なる貢献が期待できる
- 普及した場合、リサイクル時（自動車・家電等）の技術的課題の検討が必要。
- 森林資源の活用による循環型社会の実現への貢献が期待できる。

バイオマス資源活用

低炭素なCNF製品製造

活用（使用）

リサイクル

